

# 令和5年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3	履修学年・クラス	2ABC
担当者		使用教材	COMET English Communication Ⅱ (数研出版)				
学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、コミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を4技能を用いた実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。 ○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、話の展開や詳細、相手の意図などの必要な情報を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的・自律的に多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えようとする態度を養う。						
	○文型や文法の知識を応用し、辞書を使って正確な読解力を身につける練習を行う。 ○英語の発音やイントネーション・区切りに注意して、滑らかに英文が読めるように音読練習をする。 ○幅広い話題について説明したり、自分の考えを相手に伝えるための語彙力をつける。 ○単語テストやパフォーマンステストを定期的に行い、フィードバックを図る。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	英語の学習を通じて、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化なども理解している。				
	思	思考・判断・表現	○日常的・社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ○日常的・社会的な話題について、英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に表現し、伝え合うことができる。				
	態	主体的に取り組む態度・情意	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期 中期	Convenience Stores: Keys to Their Success	コンビニが商品を売るための工夫について、ハルカが研究発表を行う	○			態: 授業を通して学んだことや、日常生活の中で学んだり経験したことを積極的に活用して話している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考査</li> <li>・音読テスト</li> <li>・ライティングテスト</li> <li>・スピーキングテスト</li> <li>・単語テスト</li> <li>・授業観察</li> </ul>
		～する[である]ということ(that節)		○		思: トピックについて、相手に理解できる英語を使って、自分の考えを伝え、質問に答えることができる。 英文を読んで、特に重要な事実を捉えることを通じ、パラグラフの要旨を理解することができる。	
	High School Aquarium	高校で水族館を運営する水族館部の生徒へのインタビュー			○	知: コンビニエンスストアの3つの成功のかがしを理解する。	
		現在完了			○	水族館を運営する水族館部の生徒の活動や夢について理解する。	
前期 期末	Smart Farming	スマート農業に関するウェブサイトの記事			○	態: 授業を通して学んだことや、日常生活の中で学んだり経験したことを積極的に活用して話している。	
		受動態			○	思: トピックについて、相手に理解できる英語を使って、自分の考えを伝え、質問に答えることができる。 英文を読んで、特に重要な事実を捉えることを通じ、パラグラフの要旨を理解することができる。	
	Food Waste	食品廃棄の問題について、ダイキが学校新聞に記事を書く			○	知: スマート農業とはどのようなものかを知り、これによってどのようなことが起こるかを理解する。	
比較				○	食品廃棄を減らす取り組みを知り、自分の考えをまとめて書くことができる。		
後期 中期	Places Worth Visiting	ダイキとエラが互いが訪れた場所(屋久島とカッパドキア)についてメールで紹介する	○			態: 授業を通して学んだことや、日常生活の中で学んだり経験したことを積極的に活用して話している。	
		wantなど+(人)+to-不定詞			○	思: トピックについて、相手に理解できる英語を使って、自分の考えを伝え、質問に答えることができる。 英文を読んで、特に重要な事実を捉えることを通じ、パラグラフの要旨を理解することができる。	
	Iwago Mitsuaki: Animal Photographer	動物写真家 岩合光昭さんが、撮影において重要だと気づいたことや撮影のコツを語る			○	知: ダイキやエラが訪れた屋久島やカッパドキアの体験について理解する。 岩合さんが写真の撮影において、重要だと思っていることや撮影のコツを理解する。	
後期 期末	The Haka	ニュージーランドからの留学生マイアが、マオリ族の伝統舞踊「ハカ」について発表する			○	態: 授業を通して学んだことや、日常生活の中で学んだり経験したことを積極的に活用して話している。	
		分詞			○	思: トピックについて、相手に理解できる英語を使って、自分の考えを伝え、質問に答えることができる。 英文を読んで、特に重要な事実を捉えることを通じ、パラグラフの要旨を理解することができる。	
	Digital Detox	ハルカとダイキがデジタル機器との関わり方に関する記事を読み、意見を交換する			○	知: マオリ族がいつどのような目的でハカを踊り、ニュージーランドの人々にとってハカがどのようなものかを理解する。 デジタル機器の使い過ぎから、ハルカとダイキが考えるデジタルデトックスについて理解する。	
		if節・疑問詞節			○		